

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年 11月 30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 企業・団体名 | 福浜大一建設株式会社 |
| 所在地 | 〒971-8101 福島県いわき市小名浜字中原 16 番地の 1 |
| 代表者役職・氏名 | 代表取締役 佐藤 毅 |
| 担当者連絡先 | 電話：0246-54-8111 |
| | メール：shikita@fd-const.com |
| ウェブサイトURL | https://fd-const.com |

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

| |
|---|
| <p>弊社は昭和 36 年に創業した総合建設業者であり、福島県の小名浜港を中心として港湾構造物工事、心頭埋立造成、野積場舗装工事等の請負事業を実施しています。</p> |
|---|

| 3 側面 | SDGs 達成に向けた重点的な取組 | 2030 年に向けた指標 |
|-------------------|---|--|
| ✓環境 □社会 ✓経済 | 循環型社会の推進と先進的な技術の活用により CO2 排出量削減に貢献します。 (省エネルギー)(低炭素) | CO2 排出量削減(Scope1, 2) 【現状(2021 年度)】 795.9 t CO2 【予定】 2021 年度比 46%削減 |
| □環境 ✓社会 ✓経済 | 生産性の向上により「長時間労働の削減」「休日の確保」を実現し、積極的に仕事と生活の調和に取り組めます (生産性向上)(働き方改革) | 1 人当たりの年間総労働時間 【現状(2019 年度)】 2,300 時間 【予定】 1,950 時間以内 |
| □環境 □社会 ✓経済 | 子育てサポート(仕事と子育ての両立支援)、女性活躍の推進、若者雇用育成を積極的に行い多様な人材が十分に活躍できる環境を整備します。 (安定的な雇用) | 【予定】 ・くるみん認証取得 ・ユースエール認定取得 ・男性育休取得率 100% |

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

| カテゴリ | チェック項目 | 具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 人権・労働 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している | ・【予定】人権に関する相談窓口の設置 | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | 16.1 16.2 16.7 | |
| | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している | ・「ハラスメント防止規定」を就業規則に明記 ・総務部長を相談窓口とする体制を整備 | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | 16.1 | |
| | 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる | ・「勤怠管理システム」導入による勤務時間把握の厳正化 ・ノー残業デー(週1回)の実施 ・現場社員の4週8休取得の実施 | | | | | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | | |
| | 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している | | | | | 4.4 | | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる | ・「安全管理計画書」に労働安全に関する会社・部門方針を明記 ・安全大会(年1回)及び安全衛生委員会(月1回)を実施 ・建設現場の安全パトロールを定期的実施 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる | ・産業医との面談の設定 ・ストレスチェックの実施・管理 ・「福島県若手人材の早期離職防止事業」の相談窓口の活用 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる | ・福島県次世代育成支援企業認証制度の「働く女性応援」中小企業認証 ・障がい者の雇用 ・定年退職者の再雇用 | | | | | 5.1 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している | ・資格取得者への報奨金・奨励金制度の設定 ・人事考課制度による職級に応じた人材育成 ・若手技術系社員への技術研修OJTを実施 | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | |
| | 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している | | | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる | ・定期健康診断100%受診と対象者への協会けんぽ「特定保健指導」の実施 ・全社員のスマートフォンに健康アプリをインストール ・産業医との面談制度 ・社内健康メール(健康情報)の月1回発信 ・経産省「健康経営優良法人2022」認証 ・【予定】ふくしま健康経営優良事業所認証 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 環境 | 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる | ・社内稟議の電子化によるペーパーレスの導入 ・リサイクル製品の優先購入 ・【予定】請求書の電子化 | | | | | | | | | | 11.6 | 12.4 12.5 | | 14.1 | | | | |
| | 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | ・【予定】本社屋の使用電力について、自社消費の約50%相当分を太陽光発電システム利用 ・【予定】現場事務所へのソーラーパネルの設置 | | | | | | | | 7.3 | | | | | 13 | | | | |

| カテゴリー | チェック項目 | 具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 | 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている | ・施設の毎月の電気使用量、燃料使用量を把握し温室効果ガス排出量を集計 ・本社及び現場事務所の昼休みの消灯励行 ・社内会議のWEB会議活用で移動燃料の削減 | | | | | | | 7.2 7.3 | | | | | 12.4 | 13.3 | | | | |
| | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる | ・土壌改良時に六価クロム対応型の添加剤を使用 ・SDS(安全データシート)の活用による有害化学物質の特定・管理・確認。 | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | | |
| | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | ・希少動植物が存在する現場での事前現地調査(水質等)を実施 | | | | | | 6.6 | | | | | | | | 15 | | | |
| | 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる | | | | | | | 6.4 6.6 | | | | | | | | | | | |
| | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している | ・「ISO14001」取得 | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | | |
| | 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している | ・【予定】環境報告書の作成。 | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | | |
| | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる | ・【予定】本社屋へ自家消費型太陽光発電設備の設置 | | | | | | | 7.2 | | | | | | 13 | | | | |
| | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | | |
| 製品・サービス | 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | ・着手前に「事前施工検討会」を開催し工事内容、安全管理、施工体制を検討 | | | 3.9 | | | | | | | | 12.4 | | | | | | |
| | 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | ・「ISO9001」取得 | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | |
| | 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | ・ダム施設等の維持管理業務(除草作業)へヤギ・馬・羊を活用 | | | | | | 6 | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | | |
| | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | ・社会課題を解決するためのインフラ(港湾、道路河川、橋梁、トンネル等)の建設 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 社会貢献・地域貢献 | 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | ・工事で影響を与える地域住民、施設利用者等の声を十分に踏まえた施工計画、手順の立案 | | | | 4 | | | | | 9 | 11 | 12 | | 14 | 15 | | 17 | |
| | 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | ・地域清掃活動に参加 ・いわきFCのビジネスパートナーとして、U-18の育成に関わり、地域の子供世代のスポーツ支援 | | | | 4 | | | | | | 11 | | | 14 | 15 | | 17 | |
| | 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している | ・地域人材の雇用(社員の約9割が地元雇用) ・地元学生のインターンシップの積極的受入れ ・地域の原材料を優先的に利活用。 | | | | | | | | 8 | 9 | 11 | 12 | 13 | | | | | |

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 福島県いわき市小名浜字中原 16 番地の 1

名称： 福浜大一建設株式会社

代表者： 代表取締役 佐藤 毅

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

| 3側面 | SDGs達成に向けた重点的な取組 | 2030年に向けた指標 | 指標の進捗状況 |
|-------------------|---|--|--|
| ✓環境 □社会 ✓経済 | 循環型社会の推進と先進的な技術の活用によりCO2排出量削減に貢献します。 (省エネルギー)(低炭素) | CO2排出量削減(Scope1,2) 【現状(2021年度)】795.9t CO2 【予定】2021年度比46%削減 | 【実績(2022年度)】 722.6t Co2 2021年度比9.2%削減 |
| □環境 ✓社会 ✓経済 | 生産性の向上により「長時間労働の削減」「休日の確保」を実現し、積極的に仕事と生活の調和に取組みます。 (生産性向上)(働き方改革) | 1人当たりの年間総労働時間 【現状(2019年度)】2,300時間 【予定】1,950時間以内 | 【実績(2022年度)】 1,954時間 目標に対して99.8%達成 |
| □環境 □社会 ✓経済 | 子育てサポート(仕事と子育ての両立支援)、女性活躍の推進、若者雇用育成を積極的に行い多様な人材が十分に活躍できる環境を整備します。 (安定的な雇用) | 【予定】 ・くるみん認証取得 ・ユースエール認定取得 ・男性育休取得率100% | 【実績(2022年度)】 ・くるみんR5.12/20取得 ・男性育休取得率100% (対象1名中1名実施) |